## 第6回 新居浜駅周辺まちづくり協議会次第

日 時:平成28年1月15日(金) 14時30分から

場 所:新居浜市保健センター 3階 大会議室

### 開会

- 1 前回のまとめ
- 2 各会、市民の方々からいただいた意見の紹介
- 3 整備計画 (案) の検討について
- 4 今後の予定

閉 会

## 新居浜駅周辺まちづくり協議会 委員

H28.1.15 (第6回)

No.	区分	所 属	役 職	氏 名	備考
1	学識経験者	愛媛大学大学院	教授	吉井 稔雄	
2		愛媛大学	名誉教授	鈴木 幸一	
3	関係事業者又は	(一社)新居浜市医師会	会長	中山 恵二	
4	団体の者	(一社)新居浜市観光協会	専務理事	鎌田 眞太郎	
5		四国旅客鉄道(株)	総合企画本部 担当部長	長戸 正二	
6		新居浜商工会議所	観光まちおこし 委員会委員長	妹尾 次郎	
7	新居浜市女性連合協議会			内田 いより	
8		(公社)新居浜青年会議所	理事長	篠原 大蔵	
9		新居浜市農業委員会	農地部会長代理	篠原 修	
10		新居浜市農業協同組合		曽我部 英敏	
11		新居浜市福祉施設協議会	副会長	住友 裕美	
12		松木坂井自治会		相原 悦滋	
13		新居浜市連合自治会	副会長	坂上 公三	
14	公募	市民公募委員1		多田羅 弘美	
15		市民公募委員2		白石 哲也	

# 新居浜駅周辺まちづくり協議会

## 第6回

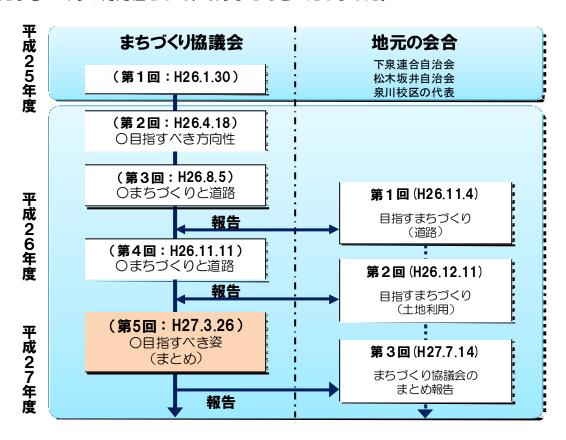
目 次	
I.前回(第5回)のまとめ	1
Ⅱ. 各会、市民の方々からの意見	5
Ⅲ. 整備計画(案)について	5
Ⅳ. 今後の予定	6

## 平成28年1月15日

## I. 前回(第5回)のまとめ

### これまでの協議会の流れ

これまで5回の協議会を開催いたしました。第5回目では、それまでの協議会で議論したまちづくりの方向性として、取りまとめをいたしました。



### 第5回までのとりまとめ

### ① 土地利用について

- 1)(都)駅裏中筋線より西側
  - ・住居系を維持
  - ・(市) 宗像筋線の拡幅
- 2)(都)駅裏中筋線より東側
  - ・賑わいを主体とした土地利用

#### ② (都)新居浜駅菊本線の延伸について

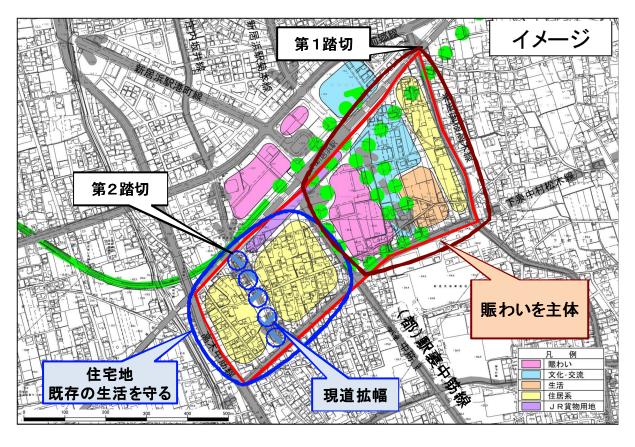
- ・事業実施は慎重に判断(用地は確保)
- ・歩行者等の通路は確保
- ・踏切の渋滞緩和施策

#### ③ JR貨物の貨物ヤードについて

・まちづくりの観点からは、現状維持。

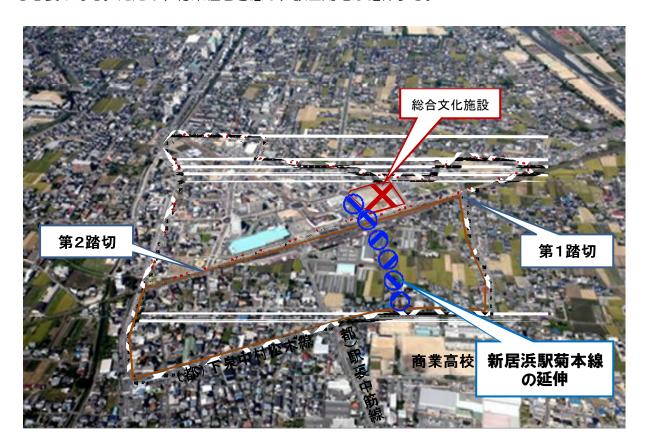
## ①土地利用について

- 1) 検討地区の西側については、現在の土地利用形態を維持するとともに、(都) 庄内坂井線を延伸し、南北市街地の連携を図っていく。
- 2) 検討地区の東側については、「賑わい」を主体とした土地利用を図り、JR新居浜駅の来訪者が滞留・休息できるおもてなしの玄関口として賑わいの創出を図る。



### ②新居浜駅菊本線延伸について

(都) 新居浜駅菊本線の延伸の必要性については、アンダーパスによる土地利用の分断 や通過交通の流入、建設コスト等、多くの課題があるため、実施については慎重に判断す る必要がある。ただし、将来性を考慮し、該当用地は確保する。



#### <アンダーパスによる効果等>

#### メリット

#### ・通過交通がスムーズ

駅周辺を通過する南北交通がスムーズ になる。(駅裏中筋線への接続も視野に入 れることができる。)

#### ・ 交通渋滞の緩和

第一踏切、第二踏切の渋滞緩和。危険性の減少

#### ・南北一体的な利用

歩道整備により駅周辺の一体化も図れる。

#### デメリット

・地区分断道路の東西で、地区が分断される。(駅北側(総合文化施設部)も)

#### ・土地利用の障害

土地利用の制限が多くなる。 (ルートによると形状も悪くなる。)

#### 通過のみ

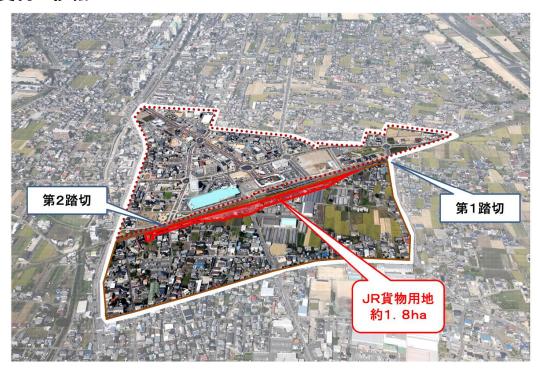
駅南地区は通過するのみとなり、賑わいの創出にはつながらない。

(住環境も悪くなる場合がある。)

#### ・費用高い

建設費が非常に高く、それに対する効果が少ない。

## ③JR貨物の移転について



### ・JR貨物が駅南の発展を阻害している。

貨物自動車(トレーラー)の出入りが、賑わいとは合わない。 (危険)

駅南地区の賑わい創出を、JR貨物が阻害している。 (景観、土地利用)

#### ・踏切遮断時間が長い

貨物列車が「本線」と「貨物専用の引き込み線」の間で入替を行うときに、 第1踏切及び第2踏切を遮断する。

貨物列車の入替時の踏切遮断は、通常の通過列車時と異なり、<u>1回当たりの</u> <u>遮断時間が長い(5分程度)</u>。そのため、円滑な道路交通に支障が生じている。



JR貨物の貨物基地の建設位置など、物流方面からの観点も必要。 将来構想として、長期的な視野で検討する。

## Ⅱ. 各会、市民の方々からの意見

### 第5回目でとりまとめての協議会のまとめ

第5回目で取りまとめた案を、地元の会合、市議会、政策懇談会、11月29日に開催いたしました「新居浜駅周辺のまちづくりフォーラム」において、皆さんに説明し、意見をいただきました。

意見を取りまとめたものを、資料p1~4に示します。

## Ⅲ.整備計画(案)について

皆さんの意見を基に、今後、少し踏み込んだ整備案を3案ほど作成し、再度市民の皆さんに説明し、意見をいただくよう考えております。市民の皆さんへ示す3つの案を本協議会において検討していただきたいと思います。つきましては、たたき台として3つの案を作成いたしました。この3つの案をより進化させる意見をいただきたいと思います。

3つの整備計画(案)を資料p5~7に示します。各の特徴は以下のとおりです。

### 1案

○商業施設での賑わい案

駅周辺整備の不満理由、駅南に求める施設ともに「商業施設」が特に多い。そのため、 商業ゾーンを大きく配置。

既存のJA営農センター及び産直市に加え、約2.3haの商業用地を配置。

### 2案

○公共施設での賑わい案

建て替えの時期を迎える公共公益施設と公園、現在借地している急患センターを配置。 公園には防災機能も加える。公共公益施設が配置される駅の東側には、歩行者通路を確保し、あかがねミュージアムとの一体化を図る。

JA新居浜市については、移転を想定。

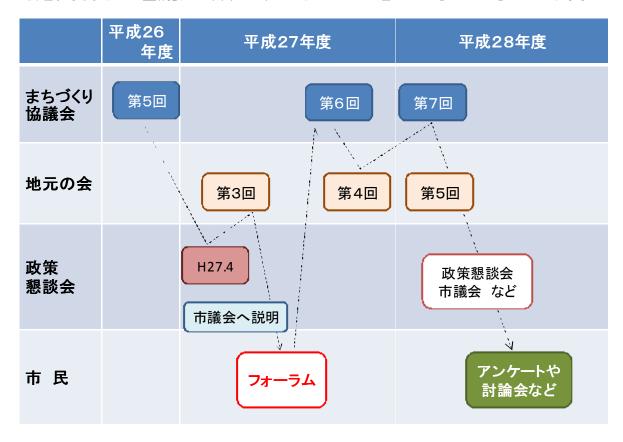
#### 3案

○折衷案

公共公益施設と商業施設(約1.3ha)を配置、JA営農センター及び産直市を設ける。

## Ⅳ.今後の予定

新居浜駅南地区の整備計画(案)の策定を次のように進めていきたいと考えています。



# 新居浜駅周辺まちづくり協議会

## 資料

<ul><li>各会、市民の方々からの意見</li></ul>	1
• 整備計画(案)	5

平成28年1月15日

	①		3	4	5		
	新居浜駅周辺まちづくり協議会	(1)出前講座	(2)地元の会合	(3)要望書	市議会	市民アンケート	フォーラム
スピード感		ペースが遅い。		早期に事業着手	・スピード感を持って、土地利用に規制を掛ける必要がある。		・グランドデザインは早めに。 ・詳細はじっくり
		整備には財政的な考慮も必要			<ul> <li>・まずは駅北の賑わいを出すべき。駅南を検 計するのは中途半端になる。</li> <li>・2~3年かけてしっかり検討したほうがいい。</li> <li>・今までのようにお金はない。後世に負担を残すようなことをしてはいけない。</li> </ul>		
道路	・南北一体となる道路建設(車、歩行者) ・跨線橋を駅の東側にももう1本つくり、歩行者動線を確保する。(アンダーパスは作らない) ・庄内坂井線の延伸は必要。 ・第1踏切、第2踏切とも、踏切の改良は必要。	・駅前と駅南を結ぶ道路整備 ・菊本線の延伸を望む ・南北道路(庄内坂井線、新居浜駅菊本線、駅裏中筋線)の整備 ・行き止まりの道路をなくして欲しい。	・駅南地区のまちづくりには、菊本線の延伸が必要。 ・駅裏中筋線と新居浜駅港町線をつなぐ。・駅裏中筋線と新居浜駅菊本線をつなぐ。・駅東中筋線と新居浜駅菊本線をつなげる。・駅東中筋線の歩道を広く。・・庄内坂井線を延伸し、拡幅。・・庄内坂井線をアンダーパスか踏切拡幅・国領高木線を広げて南北をつなぐ。・東西道路の新設。・駅前から駅南駐車場へのアクセスが不便・太鼓台が通れるアンダーパスが必要・貨物列車通過時の渋滞解消・大型車が通行できる道路を一本抜く。		・第 1踏切、第2踏切の拡幅。	・道路をもっと良くしてほしい。 ・歩道整備が必要。 ・菊本線の延伸必要 — 53% (40~50億でも全体の33%)	・菊本線の延伸は、南北一体化に必要。最重要事項。これを除いたり、後回しにするのはおかしい。 ・宗像筋線の拡幅は必要。 ・車は少し遠回りしても、交通量が減ることはない。歩行者は100m遠回りすると、誰も行かなくなる。 ・アンダーパスを2kmくらい、ずっと先まで地下を抜くと、駅周辺のにぎわいと交通の両方を確保できる。お金がかかるが。 ・経済界からすると、北側の工場と南の道路(高速、11号)を結ぶためには菊本線の延伸が必要。
	・幅員が広い道路を作るとどうしても分断されてしまうので、特にアンダーパスは慎重に考えた方がいい。 ・道路を作って不便になることはあまりない。ただ、ここにいるかという所がある。	・自治会館前の道路が裏道として使われる。交通量が多くなるので、危険。	・今のままの環境を大切にしたい。 ・菊本線の延伸はしない方がよい。(代わりに国 領高木線、庄内坂井線の延伸 ・菊本線のアンダーパスによって、大型車両が 通行し、周辺住民への影響が心配。				・歩行者動線を重点的に考える ・菊本線に特化しない、新居浜市全体の道路網がつながって良い道路になったらいい。 ・駅周辺では、道路と賑わいは相反する。
土地利用(	・カフェなど、時間つぶし、食事・農産物直販所・足湯、温泉・スポーツ広場、テニスコート・防災公園、児童公園・フラワーガーデン・南北自由通路を解りたところに、賑わいの施設を配置。	・シンボルロードからの家への進入	・賑わい、文化施設などと決めてもコンセプトがはっきりしないと納得できない。 ・生活用地は必要ない。 ・東側の住居地機は <mark>商店街</mark> に。 ・市上部の <mark>商業地</mark> が必要。		・JAの協力が必要 ・J <u>A用地以外は整備できない。期待を持たせるような議論はするべきではない。</u>	・別子につながる文化ゾーン ・駅南にも公園が必要。	・都市公園や防災公園が必要 ・川東の体育館や陸上競技場、プールなども考えられる。 ・四国全域をターゲットにすべく、まとめて駅南に配置 ・行政、商業施設、住宅などを駅周辺にまとめて ・建て替え時期が迫る文化センターを建設) ・建て替え時に市庁舎を建設、支所機能の強化
	・多目的に使える施設。公園 + イベント 広場 + 防災 + フリーマーケット ・線路沿いに賑わいの施設があると、歩 いてみようかなと思う。	・駅南側に改札口。橋上駅。	<ul><li>・官公庁、体育館があればいい。</li><li>・農協を活用した産直市</li><li>・商業施設が必要</li></ul>			・公的機関を設けてほしい。 ・商業施設 - 47% 公園 - 26% 文化施設 - 13%	・若者の定住のため、学校、特に大学 ・子育て支援による人口問題の解決 ・医療、福祉、商業施設等の都市機能と住居が集約 されたコンパケトなまち
その他	・駅南のバスターミナル ・自転車との接続をよくする。 ・急患センター ・保育所	・観光を考えるべき	・土地利用を考えて道路を考える ・文化施設などができた時の道路、駐車場を考慮すること。		・駅南地区に付加価値が必要。	・トイレの整備	・大勢の方に住んでいただくことで、活性化を。 ・ものづくりを中心とした産業の振興 ・メリハリのある拠点づくり ・子育て環境の整備、質の高い教育の提供 ・教育環境の整備
	・人が来るのは、道路があるから来るのではなく、魅力ある施設があるかどうか。魅力ある施設があれば、今の道路でも賑わいはできる。		・東と西のどちらかに集中すべき ・JR貨物の時間帯変更		・駅南だけでなく、市全体の核となる部分や、 パランスを考える必要がある。 ・コンパクトなまちづくりの中で、総合的に判断 すべき。 ・地元の意見だけでなく、いろいろな人の意見 を聴いてやるべき。	・駅前と異なった整備が必要。	・路線型の商業は、時代として終わっている。住宅を排除するのではなく、共存する方向 ・商店街の任に高齢者住宅を乗せ、基礎的な消費を産み出した事例もある。 ・農地も重要。農地は一度失えば、生産物もなくなる。 自然災害を減殺する機能もある。

## (1)駅南全体に関する意見

① 新居浜駅周辺			3	4	(5)
まちづくり協議会	(1)出前講座	(2)地元の会合	市議会	市民アンケート	フォーラム
	ペースが遅い。	早期に事業着手	まずは駅北の賑わい を出すべき。駅南を 検討するのは中途半 端になる。		グランドデザインは早めに、詳細はゆっくり
			2~3年かけてしっかり検討したほうがいい。		大勢の方に住んでい ただくことで、活性化 を。
			土地利用に規制をかけるべき。		メリハリのある拠点づ くり
南北自由通路を有効に生かすべき。	観光を考えるべき	東と西のどちらかに 集中すべき	コンパクトなまちづくり の中で、総合的に判 断すべき。	駅前と異なった整備が必要	子育て環境の整備、質の高い教育の提供
			駅南だけでなく、市全 体の核となる部分や、 バランスを考える必 要がある。		路線型の商業は、時代として終わっている。住宅を排除するのではなく、共存する方向。
	整備には財政的な考慮も必要		今までのようにお金 はない。後世に負担		医療、福祉、商業施設等の都市機能と住居が集約されたコンパクトなまち
	雨水対策も必要。田 が調整池となってい た。		を残すようなことをしてはいけない。		曲44.1
	将来的に人口が減少 したときの必要性も 考えて作るべき。	今のままの環境を大 切にしたい。	JA用地以外は整備できない。期待を持たせるような議論はするべきではない。		農地も重要。農地は 一度失えば、生産物 もなくなる。自然災害 を減殺する機能もあ る。

## (2)土地利用、施設整備 関係意見

① 新居浜駅周辺	2	地元	3	4	5
まちづくり協議会	(1)出前講座	(2)地元の会合	市議会	市民アンケート	フォーラム
カフェなど、時間つぶし、食事		商業地が必要 農協を活用した産直市		商業施設-47%	商業施設が必要
農産物直販所		商業施設が必要			
南北自由通路を降り たところに、賑わいの 施設		官公庁、体育館		文化施設-13%	文化センターを建設
線路沿いに賑わいの施設					市庁舎を建設、支所機能
公園+イベント広場+ 防災+フリーマーケッ ト				公園-26%	都市公園や防災公園が必要
防災公園、児童公園 ・急患センター					大勢の方に住んでいただくことで、活性化
・保育所					<ul><li>・子育て環境の整備、 質の高い教育の提供</li><li>・教育環境の整備</li></ul>
1案 商業施設での賑わ 駅周辺整備の不満理由、 ともに「商業施設」が特に多り 業ゾーンを大きく配置。	駅南に求める施設建い。そのため、商園、	公共施設での賑わい案     て替えの時期を迎える公共公益 現在借地している急患センター は防災機能も加える。公共公益	を配置。公 a)を配置、	案 施設と商業施設(約1.3h IA営農センター及び産直市	商店街の上に高齢者住宅を乗せ

業ゾーンを大きく配置。

既存のJA営農センター及び産直市に加え、 約2. 3haの商業用地を配置。

園には防災機能も加える。公共公益施設が配 置される駅の東側には、歩行者通路を確保し、 あかがねミュージアムとの一体化を図る。 JA新居浜市については、移転を想定。

子育て支援

## (3)道路整備に関する意見

① 新居浜駅周辺		 地元	3	4	<b>⑤</b>
まちづくり協議会	(1)出前講座	(2)地元の会合	市議会	市民アンケート	フォーラム
南北一体となる道路 建設(車、歩行者)	駅前と駅南を結ぶ道 路整備。菊本線の延 伸を望む	駅南地区のまちづくり には、菊本線の延伸 が必要。 ・駅裏中筋線と新居		菊本線の延伸必要- 53% (40~50億円かかって も必要-全体の33%)	菊本線の延伸は、南 北一体化に必要。最 重要事項。これを除 いたり、後回しにする のはおかしい。
	行き止まりの道路をなくして欲しい。	浜駅港町線をつなぐ。 ・駅裏中筋線と新居 浜駅菊本線をつなぐ。  太鼓台が通れるアン ダーパスが必要		道路をもっと良くしてほしい。	アンダーパスを2kmく らい、ずっと先まで地 下を抜くと、駅周辺の にぎわいと交通の両 方を確保できる。
住内坂井線の延伸は 必要。	自治会館前の道路が 裏道として使われる。 交通量が多くなるの	庄内坂井線を延伸し、 拡幅。			北側の工場と南の道 路(高速、11号)を結 ぶためには菊本線の 延伸が必要。
第1踏切、第2踏切とも、踏切の改良は必要。	で、危険。	菊本線の延伸はしない方がよい。(代わりに国領高木線、庄内坂井線の延伸)	第1踏切、第2踏切の 拡幅。	歩道整備が必要。	宗像筋線の拡幅 歩行者動線を重点的 に考える
跨線橋を駅の東側に ももう1本つくり、歩行 者動線を確保する。 (アンダーパスは作ら ない)		国領高木線を広げて南北をつなぐ。			車は少し遠回りしても、 交通量が減ることは ない。歩行者は100 m遠回りすると、誰も 行かなくなる。
幅員が広い道路を作 るとどうしても分断さ れてしまうので、特に アンダーパスは慎重 に考えた方がいい。		東西道路の新設。			菊本線に特化しない、 新居浜市全体の道路 網がつながって良い
魅力ある施設があれ ば、今の道路でも賑 わいはできる。		対象のアンダーパスによって、大型車両が通行し、周辺住民への影響が心配。			道路になったらいい。 駅周辺では、道路と 賑わいは相反する。

